産学官で築く 兵庫のモノづくり

兵庫工業会 30年の歩み

1985年　兵庫工業会を設立
初代会長は **岩村英郎**氏（川崎製鉄〈現JFEスチール〉出身）

1991年　**濃野滋**会長（川崎製鉄〈同〉出身）就任

1994年　**小畠賢介**会長（川崎製鉄〈同〉出身）就任

1995年　阪神・淡路大震災を受けて「震災復興110番」事業を実施

1997年　**門田研造**会長（川崎製鉄〈同〉出身）就任

2001年　**小田茂**会長（神戸製鋼所出身）就任
くすのき会（若手経営者懇話会）を発足

2002年　夏のビッグイベント開催

2004年　兵庫工業会女性会（win−win）発足
「ものづくり技術懇話会」をスタート

2007年　**山口喜弘**会長（神戸製鋼所出身）就任

2009年　兵庫技術研修大学校カリキュラム拡充
（大学・高専との連携）

2011年　**池田辰雄**会長（神戸製鋼所出身）就任

2015年　兵庫県立大学と産学連携協定を締結
幹部育成研修を開始
大西功一会長（神戸製鋼所出身）就任

若手人材の確保が重要

井戸　敏三氏（いど・としぞう）＝兵庫県知事　1945年生まれ。68年東大法卒、自治省（現総務省）入省。96年兵庫県副知事、01年から知事。13年に4選果たす。10年から関西広域連合長

―兵庫県立大では今年3月に兵庫工業会と産学連携協定を結ぶなど、産学連携の取り組みを強化しています。

太田　本学の産学連携活動は、95年に工学部が関わった姫路産学交流会ができたのが原点。今は学内に産学連携・研究推進機構があり、地元企業や行政との関係を大事にしながら県下全域、全国にと連携を広げている。個別の技術相談だけでなく、これからはシステム化した技術も重要になる。本学は工学、理学、経済、経営などの6学部や、生命理学やシミュレーション学などの13の大学院研究科がある。横断的に横串を刺してグルーピングを行い、従来の枠にとらわれない研究もやっている。

例えば本学に医学部はないが、工学部に医療系の工学技術を展開するグループがあり、今後は医工産学連携センターのようなものも構想している。兵庫工業会との産学連携協定は中身が伴う形で、いろんな事をやりたい。会員企業の経営者や技術者・技能者の方にも大学へ来てもらい、学生への指導にも参加してもらえればと思う。

大西　太田先生からは、前向きに産学連携をやろうと言ってもらっている。まず大学の学生や先生方に集まってもらい、会員企業の見学会を計画している。交流を重ねていくことで、具体的な成果に結びつけていきたい。

―工業会会員の多くを占める中小企業が抱える課題を、どう受け止めていますか。

大西　中小企業の大きな悩みとして感じるのは、地元の学生が県外に就職してしまうことへの懸念だ。ブルーカラーの人手不足も問題だが、将来的に後継者や幹部になる可能性がある優秀な学生たちに、なかなか来てもらえない。景気が少しよくなると、学生は大企業へと目がいってしまう。中堅・中小企業側も、他社との違いを打ち出し、この技術がナンバーワンだとPRできるような努力が必要だが、その橋渡しも工業会の努めと思う。

井戸　確かに若手人材の確保は重要な問題だ。兵庫県の人口の社会増減を見ると、県外への転出者が転入者を上回る転出超過の数が全国で3番目に多い。中身を見ると20代の若者が顕著で、兵庫の大学を卒業した多くの学生が県に残っていない。大企業志向だけでなく、兵庫の中堅・中小企業の情報が学生に十分伝わっていないのでは、そういう努力も必要だ。

太田　大学側でも地元企業のいいところを、学生にしっかり見てもらう必要性を感じている。産学官で「企業・大学・学生マッチング in 姫路」というイベントを姫路工学キャンパスで行っているが、企業と研究者だけでなく学生も来る。早い段階で地元にもこんな有力企業があると知っていれば、県外に出ても帰ってくる可能性は高まる。また高度な専門知識を持つ人材が、地元に残るような取り組みも行っている。

―人材確保に加え、いかに育成するかも重要です。工業会の取り組みはどうでしょう。

大西　県から「兵庫技術研修大学校」のカリキュラムを工業会が受託し、これまで多様なテーマで人材教育が行われている。今年は30周年記念として、経営センスも磨いてもらう幹部育成研修を新たに始めた。中小企業における経営トップ層の充実を図るのが狙い。今まではスキルアップ型の研修が多かったが、幹部養成を目玉にする。この研修は毎回テーマを替えて、講師は大学の先生方と工業会側の企業代表者とで構成し、学問的内容と実際の経営が学べる講義を行い、好評だ。

中堅・中小の育成図る

―県も産業人材の育成を進めています。

井戸　兵庫県立ものづくり大学校を2011年に姫路市に作った。数が減っている匠の技を持つ職人を養成するコースを作るのがその発端だった。熟練技能者の皆さんがキャラバンで県下の小・中学校に出向き、モノづくり実演の授業も行う。大学校の中にモノづくり体験ができるコースを作り、県下で約400ある中学校を対象にした体験学習も行っている。それらをやっていくと、子供たちがすごく反応してくれる。

―大学での人材育成策はどうでしょう。

太田　工学部では学生が設計や製図などを行う時、いきなりCADを使うのではなく、まずドラフターで描かせている。手の感覚のモノづくりを意識し手で考えることを学んでもらうのが狙いだ。創造力は手の経験がないと出てこない。また最近の産業界から、放射光科学と計算科学の両方の融合技術が分かる人材が欲しいともいわれている。放射光やスーパーコンピューターを使い、創薬や新材料を開発できるような人材育成にも努めたい。

―最後に井戸知事と太田副学長から、今後の兵庫工業会へ期待することを聞かせてもらえますか。

井戸　工業会が30周年を迎えられ、兵庫のモノづくり産業の支えとして活躍されてきた。モノづくりはこれからもなくならないだろうが、その内容は変化していく。ある時期、日本の産業は重厚長大から軽薄短小へ向かうといわれたが、私は少し違うと思っている。重厚長大産業が基盤にあり、その上に軽薄短小産業が活躍できる。今後もモノづくりがしっかりしていて、その上にソフト産業が融合し、新分野を切り拓くことにつながるのではないか。そんな新しいモノづくりを、工業会がリードしていくと期待したい。

太田　工業会においても特に最近は、副会長の存在感もかなり感じている。委員会制度をとられ、それぞれが活躍している印象だ。工業会には産と学をつなぐ活動をもっと強めていただいて、〝ともに拓く工業会〟というスローガン中に我々の大学も入り、少しでも貢献できたらと思っている。また大学に寄付講座などを作ってもらい、工業会メンバーで第一線で活躍されているいろんな経営者の方に、授業で話をしてもらえないかとも考えている。マツダの元会長・社長である井巻久一氏に特任教授できていただいているが、その方のご見識と人柄で学生に接するところは大きい。今後は海外インターンシップ（就業体験）などでも、工業会に協力をお願いしたいと思う。

―大西会長、これら期待の声にどう応えていきますか。

大西　日本はモノづくりをしていかないと食べていけない。兵庫県は製造品出荷額が14兆円で、総生産は18兆円。ただ県人口（555万人）で割った1人あたりの総生産は、大阪の7割ぐらいしかない。中小企業を含めてもう少し付加価値を高め、モノづくりでしっかりもうかる体質を志向していくのが、工業会の大きな課題なのかなと、会長に就任して2カ月ぐらいだが、そう思っている。これからも官学のご支援・ご協力を得て、県内各地域の企業のモノづくり意欲向上を図っていきたい。

―本日はありがとうございました。

〝手で考えること〟〝学ばせる〟

太田　勲氏（おおた・いさお）＝兵庫県立大学理事・副学長　1943年生まれ。67年阪大院基礎工学研究科修了、同年姫路工大（現兵庫県大）助手。93年教授、01年工学部長／工学研究科長。10年副学長（研究・産学連携担当）

安心・確実な未来のために、わたしたちは挑み続けます。
グローリー株式会社
代表取締役社長　尾上広和
〒670-8567 兵庫県姫路市下手野1−3−1 ☎079(297)3131
http://www.glory.co.jp FAX079(294)6233

計測システム開発、計測器の校正、半導体テストプログラムの開発
大王電機株式会社
代表取締役　近藤　輝
〒664-0831 兵庫県伊丹市北伊丹9−80−1 ☎072(785)7333
http://www.daioh-denki.co.jp/ FAX072(785)7337

神戸から世界中の人々の健康を支えるために――
世界190ヵ国以上のお客様に製品とサービス&サポートをお届けしています。
シスメックス株式会社
代表取締役会長兼社長　家次　恒
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1−5−1 ☎078(265)0500
http://www.sysmex.co.jp/ FAX078(265)0524

ゴルフ用品、テニス用品の製造販売、フィットネスクラブの運営
ダンロップスポーツ株式会社
代表取締役社長　木滑和生
〒651-0072 神戸市中央区脇浜町3−6−9 ☎078(265)3200
http://www.dunlopsports.co.jp FAX078(265)3135

株式会社神戸製鋼所
代表取締役社長　川崎博也
神戸本社 〒651-8585 神戸市中央区脇浜海岸通2−2−4 ☎078(261)5111
東京本社 〒141-8688 東京都品川区北品川5−9−12 ☎03(5739)6000
http://www.kobelco.co.jp

小さなふれあい　大きなおつきあい
姫路信用金庫
理事長　三宅知行
〒670-8652 兵庫県姫路市十二所前町105 ☎079(288)1121
http://www.shinkin.co.jp/himeshin/ FAX079(288)9173

温度センサ及び工業用ヒータの専門メーカー
株式会社岡崎製作所
代表取締役会長　岡崎一雄
代表取締役社長　岡崎一英
〒651-0087 神戸市中央区御幸通3−1−3 ☎078(251)5141
FAX078(252)0657

各種真空ポンプ、真空諸装置、精密投影機、精密電気炉、半導体製造用機器
神港精機株式会社
代表取締役社長　眞下　忠
〒651-2271 神戸市西区高塚台3−1−35 ☎078(991)3011
http://www.shinko−seiki.com FAX078(991)2860

電子応用機器・通信機器・医療用機器等の開発・製造および販売
古野電気株式会社
代表取締役社長　古野幸男
〒662-8580 兵庫県西宮市芦原町9−52 ☎0798(65)2111
http://www.furuno.co.jp FAX0798(63)1020

各種精密打抜スクリーン（パンチングメタル）の製造販売
株式会社布引製作所
代表取締役社長　安藤　隆
〒658-0025 神戸市東灘区魚崎南町2−16−24 ☎078(431)1105㈹
http://www.nunobiki-s.co.jp FAX078(431)1107

NSスーパーフレーム工法　パネル製作認定工場、施工指定会社
阿比野建設株式会社
代表取締役社長　阿比野　剛
〒671-1116 兵庫県姫路市広畑区正門通4−3−3 ☎079(236)3555
http://www.abino.co.jp FAX079(237)0105

免雷の時代へ
音羽電機工業株式会社
取締役社長　吉田　修
〒661-0021 兵庫県尼崎市名神町3−7−18 ☎06(6429)3541
http://www.otowadenki.co.jp FAX06(6426)0535

非鉄金属鋳物製造
カルモ鋳工株式会社
代表取締役　髙橋直哉
〒651-2271 神戸市西区高塚台3−1−45 ☎078(991)1414
FAX078(991)1418

総合物流システムメーカー
オークラ輸送機株式会社
代表取締役社長　大庫良一
〒675-8675 兵庫県加古川市野口町古大内900 ☎079(426)1181
http://www.okurayusoki.co.jp/ FAX079(426)1324

変位センサ・メカトロニクス（計測・制御）のサプライヤー
新光電機株式会社
代表取締役　井上直也
〒651-2271 神戸市西区高塚台3−1−55 ☎078(992)0671㈹
http://www.shinkodenki.co.jp FAX078(992)0506

射出成型及び金型製作・シルク印刷、電子・電機機器・医療部品の製造、電機・電鉄・車輌用機器組立等
明興産業株式会社
代表取締役会長　下土井康晴
代表取締役社長　手崎祐一朗
〒653-0032 神戸市長田区苅藻通1−3−1 ☎078(651)5271
http://www.meikos.co.jp FAX078(651)5233

［無限大］のソリューション
篠山から世界へ…プラスチックに夢を乗せて!
フルヤ工業株式会社
代表取締役社長　降矢寿民
〒669-2211 兵庫県篠山市大沢新110 ☎079(594)1111㈹
http://www.furuyainc.co.jp FAX079(594)1115

時代の要請に応える環境ソリューション企業
株式会社神鋼環境ソリューション
代表取締役社長　粕谷　強
〒651-0072 神戸市中央区脇浜町1−4−78 ☎078(232)8018
http://www.kobelco−eco.co.jp FAX078(232)8051

総合プラントエンジニアリング
株式会社神鋼エンジニアリング&メンテナンス
代表取締役社長　佐藤孝彦
〒657-0846 神戸市灘区岩屋北町4−5−22 ☎078(803)2901
http://www.shinkoen-m.jp FAX078(803)2909

思いに応えるロジスティクス
神鋼物流株式会社
代表取締役社長　岩佐道秀
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通2−2−4 ☎078(262)3800
http://www.kobelco-logis.co.jp FAX078(262)3809

神鋼商事株式会社
代表取締役社長　山口育廣
東京本社 〒103-8261 東京都中央区日本橋1−2−5 ☎03(3276)2036 FAX03(3276)2006
大阪本社 〒541-8557 大阪市中央区北浜2−6−18 ☎06(6206)7010 FAX06(6206)7018
http://www.shinsho.co.jp/